

持続可能な組織基盤の確立

- (1) 対話運動を通じた組織・事業の運営
- (2) 組合員組織の基盤強化
- (3) 組合員のアクティブ・メンバーシップの確立

女性部

女性部は地区ごとに支部があり、エコ石けん作りや手芸教室、ハイキング、研修旅行などさまざまな活動をしています。



盆踊り大会



社協から廃油の引き取り

青壮年部

地元産農産物の販売で管内農業のPRに努めています。青壮年部はあきる野市農業振興会と協力し、あきる野市産業祭で展示した花野菜宝船の宝分けの収益金を日本赤十字社へ寄付しました。地域の農業振興として、特産物のトウモロコシを使用した焼酎を企画。生産から販売まで行っています。



あきる野市産業祭にて



トウモロコシの出荷作業

経済センター直売所モニター

准組合員の位置付け明確化。第3回モニター会議を開きました。



スイートコーン部会

スイートコーン種子の共同購入を行いました。部会推奨の4品種をはじめ、11種苗メーカーの35品種、1袋2000粒入りの種子450袋を74人の会員に配布しました。



年金友の会

第9回グラウンドゴルフ大会を開催。各地区より18チーム130人の選手が参加しました。



都民と「食」「農」「JA」が織りなす地域社会の実現

- (1) 都民に向けた広報活動の強化
- (2) 豊かでくらしやすい地域社会づくり
- (3) 都市農業の多面的機能の発揮

地域貢献活動

地域交流の拠点となる事を目的に、店舗では各種イベントを開催し、地域の催しに参加しています。保育園・幼稚園・小学校に年間を通して農業体験を支援し、各センターでは社会科見学・就業体験を受け入れ、出張授業も行いました。

地域コミュニティ事業

各店舗が地域交流の拠点に!



地元産物ショウガ販売

農業体験支援

保育園・幼稚園・小学校で年間を通して支援をしています。



ダイコンの種まき

イベントに協力

イベントの参加賞として、五日市地区特産で江戸東京野菜の「のらぼう菜」を使った即席みそ汁、「のらぼう菜のお味噌汁」を提供しました。



のらぼう菜のお味噌汁はJAあきがわオリジナル商品です。

親子農業体験「あぐりスクール」

管内に住む親子に農作業を楽しみながら農業への興味・関心を高めてもらい、農家の仕事を知らせてもらうことが目的です。



ハクサイの植付け

火災予防運動に協力

東京消防庁から火災予防運動への協力に対し感謝状をいただきました。



市内小・中学校 社会科見学など受入れ

各直売所で市内の小・中学校の社会科見学、職場体験を受入れています。



ひまわり緑肥事業

土壌改良のため、ヒマワリの種を配布しました。10月に季節外れのひまわり畑が広がり、地域住民に好評でした。開花後は緑肥として畑にすき込みました。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任 つかう責任



15 陸の豊かさも守ろう



特集 JA自己改革

令和4年度(2022年度)~令和6年度(2024年度)3カ年計画 JA自己改革の実践
「組合員・JA・地域が紡ぐ知恵と創造と協同の輪」
~令和5年の取り組み報告~



2 気候をゼロに



4 質の高い教育をみんなに



6 安全な水とトイレを世界中に



8 働きがいも経済成長も



<基本方針>

「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、持続可能な東京農業と、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向け、「持続可能な東京農業の確立」・「持続可能な組織基盤の確立」・「不断の自己改革の実践を支えるJA経営基盤の確立」・「都民と「食」「農」「JA」が織りなす地域社会の実現」の4つのテーマの実践に徹底して取り組んでいます。

持続可能な東京農業の確立

- (1) 生産・販売事業の強化による農業者の所得増大
- (2) 直売所を拠点とした地域戦略
- (3) 次代へつなぐ事業承継と都市農地の保全
- (4) 農業の担い手の育成・支援
- (5) 新たな都市農業政策の立案

耕作支援・農機具無料点検など

農機具の無料点検・無料オイル交換の特別キャンペーンを年に2回、行っています。2月に営農支援センターで、9月に檜原村で、計405台の無料点検を行いました。



耕うん機の点検

農業用廃棄ビニール・廃棄農薬の回収

農業で出るごみ、産業廃棄物の適正処理。農業用廃棄ビニールの回収は11月に行い、171袋集まりました。登録失効、有効期限切れ農薬は年1回、回収しています。



ビニールを回収する職員(左)

生分解性マルチの特別価格販売

プラゴミ削減に向けて、農業用生分解性マルチを特別価格販売し農業廃棄物の削減を支援しています。

営農相談



品質向上委員会各直売所出荷物の品質検査

相談受付日

日・月・木・金曜日の週4日

営農支援センターでは営農アドバイザーが農業について相談をお受けしています。野菜の育て方や病害虫のことなど、農業に関する事ならなんでも、お気軽にご相談ください。

第2回農畜産物品評会

JA主催の品評会を開催。「野菜の部」「果実の部」「花き・植木の部」「加工品・その他の部」の4部門に計150点の出品がありました。



特別賞を受賞した野菜

各種講習会開催

直売所出荷部会や営農部会を対象に、講習会を開きました(トウモロコシ栽培講習会など)。



圃場見学

獣害対策・電気柵支援

獣害被害の電気柵「デンエモン」の購入費用を半額助成しています。

不断の自己改革の実践を支えるJA経営基盤の確立

- (1) JA経営基盤強化
- (2) 中央会・連合会等との連携強化

直売所スタンプラリー

直売所の来店客数増加を目的に企画。4カ所の経済センターと直売所でスタンプを集めてもらい、抽選で豪華賞品をプレゼントしました。



東京お米クーポン事業協力

800箱の野菜詰め合わせセットを提供しました。



小・中学生書道コンクール展示会



半紙の部・条幅の部、合わせて256点の応募がありました。

JAは引き続き自己改革に、積極的に取り組んでまいります。